

第66回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和3年2月調査)

~景況感は持ち直しの動きがみられるものの、 先行きは依然として慎重姿勢~

【 調査の要旨 】

- ▶ 県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲37.2 (前回調査比 12.6 ポイント上昇) と 2 期連続で改善した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」はいずれも改善し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。
- ▶ 業種別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業が▲7.6(前回調査比 13.7 ポイント上昇)、製造業が▲22.9(前回調査比 37.4 ポイント上昇)、卸・小売業が▲31.2(前回調査比 24.2 ポイント上昇)、サービス業が▲55.9(前回調査比 2.8 ポイント上昇)と、すべての業種で改善となった。
- 地域別に「自社の業況 D I 値(前年同期比)」をみると、村山南部が▲36.7(前回調査比 10.2 ポイント上昇)、村山北部が▲47.9(前回調査比 11.3 ポイント上昇)、最上が▲30.0(前回調査比 11.8 ポイント上昇)、置賜が▲49.1(前回調査比 18.2 ポイント上昇)、庄内田川が▲21.3(前回調査比 11.2 ポイント上昇)、庄内飽海が▲42.9(前回調査比 13.9 ポイント上昇)と、すべての地域で改善となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲39.6(今回調査比 2.4 ポイント下落)と 悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- 雇用調整について尋ねたところ、全業種でみると「実施している(した)」と回答した企業の割合は「残業規制」が38.3%(昨年比9.8 ポイント低下)、「ワークシェアリング」が11.8%(昨年比5.2 ポイント低下)、「従業員の削減」が5.5%(昨年比0.2 ポイント上昇)、「従業員の中途採用」が38.3%(昨年比13.9 ポイント低下)と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は低下し、「従業員の削減」の割合はほぼ横ばいとなった。
- ▶ 新卒者の採用状況について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 36.8% (昨年調査比 4.7ポイント低下)と3年連続で低下となった。

令和3年2月

株式会社 フィデア情報総研



目次

I.	ļ	景内企 :	莱の茅	耒况	
	1.	概況			1
	2.	業種	別の動	動向	2
		(1)	業種	別の概況	2
		(2)	業種	別DI値の動向	3
		1	建設	设業	3
		2	製造	造業	4
		3	卸•	・小売業	5
		4	サー	ービス業	θ
	З.	地域	別の動	動向	7
		(1)	地域	別の概況	7
		(2)	地域	別DI値の動向	8
		1	村山	山南部	8
		2	村山	山北部	g
		3	最	<u> </u>	10
		4	置	賜	11
		⑤	庄内	为田川	12
		6	庄内	勺飽海	13
II.	}	景気の	天気予	予報図	14
Ш	. 4	特別調	查		15
	1.	雇用	調整に	こついて	15
	2.	新卒	者の採	采用状況について	17
く参	考	資料 I	:地均	域別・業種別回答率>	18
く 耄	考	資料Ⅱ	:調3	査の概要>	18



0.5

9.8

(**A** 3. 2)

▲ 7.8

(3.2)

▲ 21.4

(9.3) (▲ 13.6)

1. 県内企業の業況

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲37.2(前回調査比 12.6 ポイント上昇)と2期連続で改善した。「各種 D I 値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」はいずれも改善し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲39.6 (今回調査比 2.4 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。景況感には持ち直しの動きがみられる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を不安視する動きは依然強く、先行きに対する慎重姿勢は今後も続くと思われる。

20 ▲ 20 **4**0 **▲** 60 ▲ 80 H31 R01 H27 H28 H30 R03 05 08 11 02 05 08 11 02 05 08 11 02 05 08 11 02 05 08 11 02 05 08 11 02 02 05 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 見通し 図表 2 全業種「各種DI値(前年同期比)」の推移 60 売上高 営業利益 人員·人手 ●資金繰り 40 20 0 **A** 20 **4**0 ▲ 60 H27 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 02 NΑ 02 05 NΑ 11 02 05 08 11 02 05 08 11 02 05 nع 11 02 05 08 11 02 05 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 見通し 前年同期比の自社業況DI値 山形県 自社業況(前年同期比) 資金 売上高 利益 調査時(サンプル数) 全業種 前回調查比 前回調查予測 R 02. 02 (n=412) **▲** 22.6 (**A** 7.3) **▲** 20.0 **▲** 24.5 **▲** 21.4 22.5 ▲ 5.8 R 02. 05 (n=433) **▲** 45.3 (**A** 22.7) **▲** 31.8 **▲** 25.9 **46.8 ▲** 40.2 **▲** 8.3 R 02.08 (n=413) **▲** 55.5 (**A** 10. 2) **▲** 67. 2 **▲** 57. 1 **▲** 52.0 **▲** 9.4 **▲** 17.4 R 02. 11 (n=408) **▲** 49.8 (5.7)**▲** 50.6 **▲** 50.0 **▲** 46.6 3.7 **▲** 11.0

図表 1 全業種「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

▲ 37.2

▲ 39.6

(**A** 2.4)

(12.6)

R 03.02(n=397)

先行き見通し

前回調查比

今回調査比

28.7

40.3

▲ 38.1

(9.7)

(2.2)

35.0

(11.6)

▲ 38.6

(**A** 3. 6)

^{※「}売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

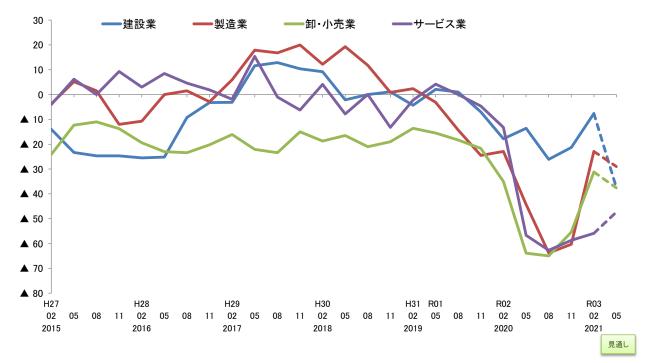


2. 業種別の動向

(1)業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値(前年同期比)」をみると、建設業が▲7.6 (前回調査比 13.7 ポイント上昇)、製造業が▲22.9 (前回調査比 37.4 ポイント上昇)、卸・小売業が▲31.2 (前回調査比 24.2 ポイント上昇)、サービス業が▲55.9 (前回調査比 2.8 ポイント上昇) と、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、卸・小売業で悪化、サービス業で改善の見込みとなっている。



図表 3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

前年同期比の自社業況DI値

業種別		自社業況(前年同期比)								
調査時(サンプル数)	全業種	建設	製造	卸•小売	サービス					
R 02. 02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 17.8	▲ 22.9	▲ 35.0	▲ 13.2					
R 02. 05 (n=433)	▲ 45.3	▲ 13.6	▲ 44.3	▲ 63.9	▲ 56.7					
R 02. 08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 26. 1	▲ 63.8	▲ 65.0	▲ 62.7					
R 02. 11 (n=408)	▲ 49.8	▲ 21.3	▲ 60.3	▲ 55.4	▲ 58.7					
R 03.02(n=397)	▲ 37.2	▲ 7.6	▲ 22.9	▲ 31.2	▲ 55.9					
前回調査比	(12. 6)	(13. 7)	(37. 4)	(24. 2)	(2.8)					
先行き見通し	▲ 39.6	▲ 37.6	▲ 29.0	▲ 37.6	▲ 47.3					
今回調査比	(A 2.4)	(▲ 30.0)	(A 6.1)	(▲ 6.4)	(8.6)					

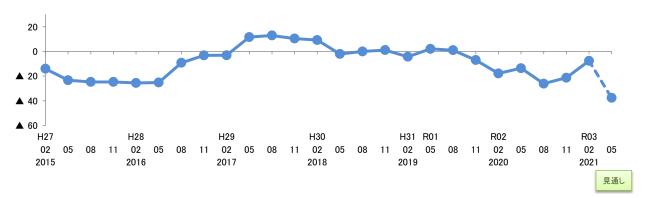


(2)業種別DI値の動向

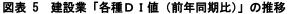
① 建設業

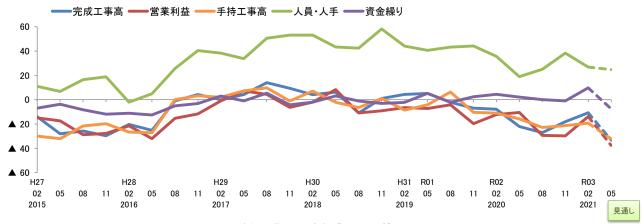
「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲7.6(前回調査比 13.7 ポイント上昇)と、2 期連続で改善となった。「各種 D I 値(前年同期比)」をみると、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」が改善となり、「資金繰り」は D I 値がプラスに転じた。「人員・人手」は3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、民間設備投資や住宅建設においては停滞が続いているものの、冬季の除雪関連業務によって収益の確保を図っている状況が見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲37.6 (今回調査比 30.0 ポイント下落)と 大幅な悪化が見込まれている。



図表 4 建設業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

建設業	自社業況(i	前年同期比)		完成	営業	手持	人員	資金
調査時(サンプル数)		前回調査比	前回調査予測	工事高	利益	工事高	人手	繰り
R 02. 02 (n=90)	▲ 17.8	(10.8)	▲ 27.9	▲ 7.8	▲ 12.3	▲ 11.1	35.6	4. 4
R 02. 05 (n=95)	▲ 13.6	(4. 2)	▲ 31.1	▲ 22. 1	▲ 10.5	▲ 15.8	18.9	2. 1
R 02. 08 (n=92)	▲ 26.1	(A 12.5)	▲ 49.5	▲ 27. 1	▲ 29.4	▲ 22.8	25.0	0.0
R 02. 11 (n=94)	▲ 21.3	(4.8)	▲ 36.9	▲ 18.1	▲ 29.8	▲ 21.3	38. 3	▲ 1.0
R 03.02(n=93)	▲ 7.6	(13. 7)	▲ 26.6	▲ 10.8	▲ 13.9	▲ 19.3	26.8	9.7
前回調查比	_	-	-	(7.3)	(15. 9)	(2.0)	(▲ 11.5)	(10. 7)
先行き見通し	▲ 37.6	-	-	▲ 33.3	▲ 37.6	▲ 32.2	24. 7	▲ 7.6
今回調査比	(▲ 30.0)	_	-	(A 22.5)	(A 23.7)	(1 2.9)	(A 2.1)	(17.3)



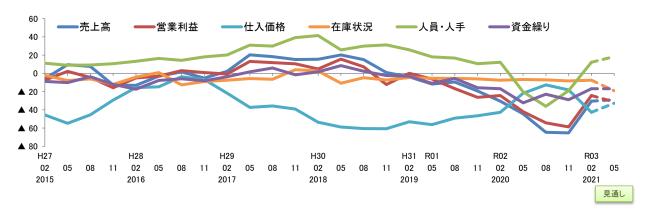
② 製造業

「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲22.9(前回調査比 37.4 ポイント上昇)と、2 期連続で改善となった。「各種 D I 値(前年同期比)」をみると、「仕入価格」が大幅に悪化、「売上高」「営業利益」「資金繰り」は改善、「在庫状況」はほぼ横ばいとなった。「人員・人手」はプラス幅が拡大し、D I 値がプラスに転じた。各社のコメントからは、一部半導体や自動車関連で回復の動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の動向以外にも、貿易摩擦や米中関係など海外経済の影響を懸念しており、依然として先行きには慎重な姿勢がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲29.0 (今回調査比 6.1 ポイント下落) と悪化が見込まれている。



図表 7 製造業「各種 D I 値 (前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

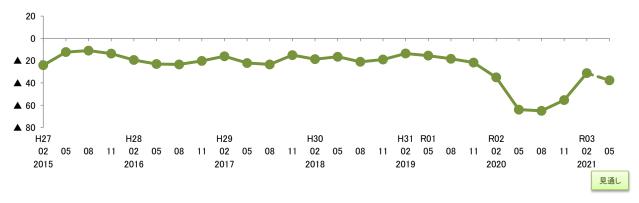
製造業	自社業況(前年同期比)		売上高	営業	仕入	在庫	人員	資金
調査時(サンプル数)		前回調査比	前回調查予測	70110	利益	価格	状況	人手	繰り
R 02.02 (n=131)	▲ 22.9	(1.6)	▲ 13.1	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42. 7	▲ 7.6	12. 2	▲ 16.8
R 02.05 (n=133)	▲ 44.3	(A 21.4)	▲ 29.0	▲ 44.4	▲ 42.1	▲ 21.8	▲ 6.8	▲ 20.3	▲ 32.4
R 02.08 (n=127)	▲ 63.8	(A 19.5)	▲ 62.4	▲ 64.6	▲ 54.3	▲ 12.6	▲ 7.1	▲ 36.2	▲ 22.9
R 02.11 (n=121)	▲ 60.3	(3.5)	▲ 48.8	▲ 65.3	▲ 58.7	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 19.0	▲ 29.0
R 03.02 (n=118)	▲ 22.9	(37.4)	▲ 26.4	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42.7	▲ 7.6	12. 2	▲ 16.8
前回調査比	-	_	-	(34.8)	(34.3)	(A 24.5)	(0.7)	(31. 2)	(12. 2)
先行き見通し	▲ 29.0	-	-	▲ 29.0	▲ 31.3	▲ 32.8	▲ 19.1	18.3	▲ 16.8
今回調査比	(▲ 6.1)	_	_	(1.5)	(A 6.9)	(9.9)	(▲ 11.5)	(6.1)	(0.0)



③ 卸・小売業

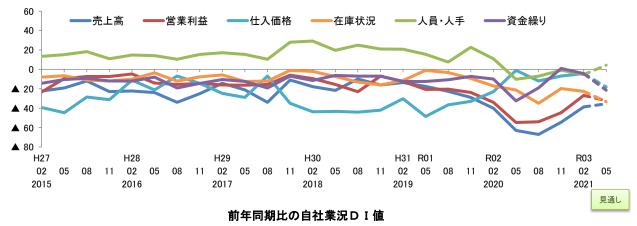
「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲31.2(前回調査比 24.2ポイント上昇)と 2 期連続で改善となった。「各種 D I 値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「仕入価格」は改善したものの、「在庫状況」「資金繰り」は悪化となり、「資金繰り」は D I 値がマイナスに転じた。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、食料品関連などで業務用製品については厳しい状況が続く一方で、ネット販売や店舗販売で売上を伸ばしている様子がみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲37.6 (今回調査比 6.4 ポイント下落) と悪化が見込まれている。



図表 8 卸・小売業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移





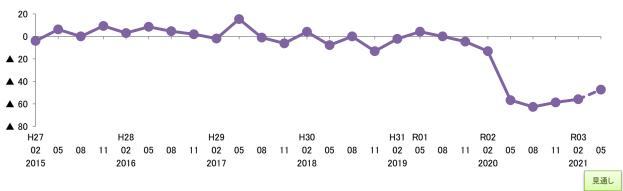
卸・小売業 調査時(サンプル数)	自社業況(直	前年同期比)前回調査比	前回調査予測	売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
R 02.02 (n=100)	▲ 35.0	(A 13.3)	▲ 30.9	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 23.0	▲ 17.0	11.0	▲ 10.0
R 02.05 (n=108)	▲ 63.9	(▲ 28.9)	▲ 39.0	▲ 62.9	▲ 54.7	▲ 1.0	▲ 21.3	▲ 10.2	▲ 32.4
R 02.08 (n=100)	▲ 65.0	(▲ 1.1)	▲ 79.6	▲ 67.0	▲ 54.0	▲ 12.0	▲ 35.0	▲ 7.0	▲ 19.0
R 02.11 (n=101)	▲ 55.4	(9.6)	▲ 60.0	▲ 54.5	▲ 44.6	▲ 6.9	▲ 19.8	▲ 0.9	1.0
R 03.02 (n=93)	▲ 31.2	(24. 2)	▲ 31.7	▲ 38.7	▲ 26.9	▲ 4.3	▲ 22.6	▲ 5.4	▲ 4.3
前回調査比	-	-	-	(15.8)	(17. 7)	(2.6)	(A 2.8)	(▲ 4 .5)	(A 5.3)
先行き見通し	▲ 37.6	-	-	▲ 35.4	▲ 32.2	▲ 18.2	▲ 33.3	4. 3	▲ 21.5
今回調査比	(▲ 6.4)	-	_	(3.3)	(A 5.3)	(▲ 13.9)	(▲ 10.7)	(9.7)	(▲ 17.2)



④ サービス業

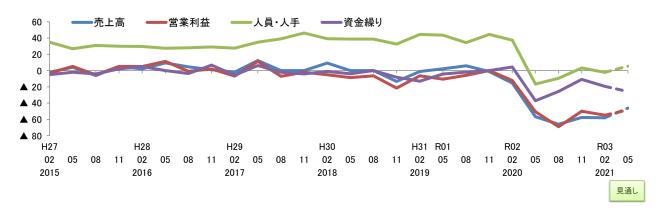
「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲55.9 (前回調査比 2.8 ポイント上昇) と小幅ながら 2 期連続で改善した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「売上高」はほぼ横ばい、「営業利益」「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」は D I 値が再びマイナスに転じ、一進一退の状況となっている。各社のコメントから、GoToトラベルキャンペーンの停止や感染拡大の影響から宿泊業や旅客自動車運送業などで減収傾向がみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲47.3 (今回調査比 8.6 ポイント上昇)と改善が見込まれている。



図表 10 サービス業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

サービス業	自社業況(前	年同期比)		売上高	営業	人員	資金
調査時(サンプル数)		前回調査比	前回調査予測	九二回	利益	人手	繰り
R 02.02 (n=91)	▲ 13. 2	(▲ 8.6)	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 12.1	37. 4	4. 4
R 02.05 (n=97)	▲ 56.7	(A 43.5)	▲ 28.6	▲ 56.7	▲ 50.6	▲ 16.5	▲ 37.1
R 02.08 (n=94)	▲ 62.7	(▲ 6.0)	▲ 77.4	▲ 66.0	▲ 69.1	▲ 9.5	▲ 25.6
R 02.11 (n=92)	▲ 58.7	(4. 0)	▲ 56.4	▲ 57.6	▲ 50.0	3. 2	▲ 10.9
R 03.02 (n=93)	▲ 55.9	(2.8)	▲ 30.5	▲ 58.1	▲ 54.8	▲ 2.2	▲ 19.3
前回調査比	_	-	_	(A 0.5)	(A 4.8)	(▲ 5.4)	(A 8.4)
先行き見通し	▲ 47.3	_	-	▲ 46.2	▲ 48.4	5.4	▲ 25.8
今回調査比	(8.6)	_	_	(11.9)	(6.4)	(7.6)	(▲ 6.5)

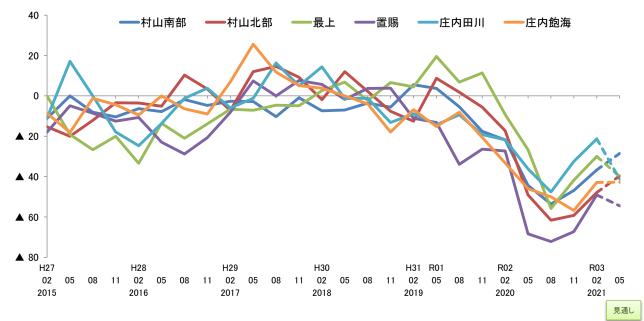


3. 地域別の動向

(1)地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲36.7 (前回調査比 10.2 ポイント上昇)、村山北部が▲47.9 (前回調査比 11.3 ポイント上昇)、最上が▲30.0 (前回調査比 11.8 ポイント上昇)、置賜が▲49.1 (前回調査比 18.2 ポイント上昇)、庄内田川が▲21.3 (前回調査比 11.2 ポイント上昇)、庄内飽海が▲42.9 (前回調査比 13.9 ポイント上昇)と、すべての地域で改善となった。

業況の先行き見通しをみると、庄内飽海はほぼ横ばい、村山南部と村山北部で改善が見込まれるものの、その他の3地域では悪化が見込まれている。



図表 12 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

前年同期比の自社業況DI値

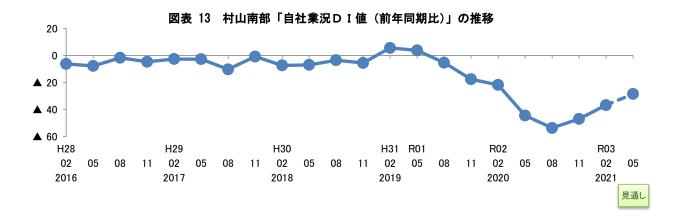
地域別		自社業況(前	年同期比)				
調査時(サンプル数)	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 02.02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 21.8	▲ 17.3	▲ 9.3	▲ 27.3	▲ 21.8	▲ 33.3
R 02.05 (n=433)	▲ 45.3	4 4.4	▲ 49.1	▲ 26.7	▲ 68.4	▲ 36.2	▲ 46.0
R 02.08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 55.8	▲ 72. 2	▲ 47.6	▲ 50.0
R 02.11 (n=408)	▲ 49.8	▲ 46.9	▲ 59.2	▲ 41.8	▲ 67.3	▲ 32.5	▲ 56.8
R 03.02 (n=397)	▲ 37.2	▲ 36.7	▲ 47.9	▲ 30.0	▲ 49.1	▲ 21.3	▲ 42.9
前回調査比	(12. 6)	(10. 2)	(11. 3)	(11.8)	(18. 2)	(11. 2)	(13. 9)
先行き見通し	▲ 39.6	▲ 28.5	▲ 39.6	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 41.3	▲ 42.8
今回調査比	(A 2.4)	(8. 2)	(8.3)	(10.0)	(5.4)	(20.0)	(0.1)



(2) 地域別DI値の動向

村山南部 1

「自社の業況DΙ値(前年同期比)」は▲36.7(前回調査比10.2ポイント上昇)と2期連続で改善となった。 業種別にみると、建設業はほぼ横ばい、製造業と卸・小売業で大幅に改善、サービス業で悪化となっている。 業況の先行き見通しは、「自社の業況DΙ値(前年同期比)」が▲28.5(今回調査比8.2ポイント上昇)と改 善の見込みとなっている。



建設業 製造業 ─卸·小売業 **---**サービス業 40 20 n ▲ 20 **4**0 **▲** 60 ▲ 80 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 02 02 02 02 02 02 05 80 11 05 80 11 05 80 11 05 80 11 05 80 11 05 2016 2017 2018 2019 2020 2021 見通し

図表 14 村山南部「業種別・自社業況DI値(前年同期比)」の推移

前年同期比の自社業況DI値

村山南部	自社業況(i	前年同期比)		業種	11111111111111111111111111111111111111	(前年同期)	比)
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸•小売	サービス
R 02. 02 (n=115)	▲ 21.8	(A 4. 2)	▲ 17.6	▲ 11.1	0.0	▲ 48.3	▲ 20.5
R 02.05 (n=115)	▲ 44. 4	(A 22.6)	▲ 35.6	▲ 27.7	▲ 34.6	▲ 54.8	▲ 50.0
R 02.08 (n=110)	▲ 53.6	(A 9.2)	▲ 68.7	▲ 23.6	▲ 68.0	▲ 46.7	▲ 63. 2
R 02.11 (n=113)	▲ 46.9	(6. 7)	▲ 46.3	▲ 16.6	▲ 58.4	▲ 56.2	▲ 46. 2
R 03.02(n=109)	▲ 36.7	(10. 2)	▲ 26.5	▲ 16.7	0.0	▲ 26.0	▲ 52.5
前回調査	比 –	-	-	(A 0.1)	(58.4)	(30. 2)	(A 6.3)
先行き見通し	▲ 28.5	-	-	▲ 22.2	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 35.0
今回調査	比 (8.2)	<u> </u>	-	(A 5.5)	(▲ 25.9)	(3.8)	(17. 5)



② 村山北部

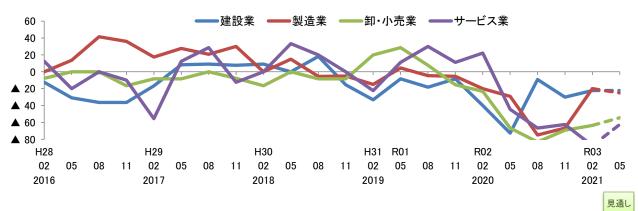
「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲47.9(前回調査比 11.3 ポイント上昇)と 2 期連続で改善した。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で改善となったものの、サービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲39.6 (今回調査比 8.3 ポイント上昇)と改善が見込まれている。

▲ 20 0 0 ▲ 80 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 見通し

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

村山北部	自社業況(前	5年同期比)		業種	別/自社業況	(前年同期)	上)
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製 造	卸•小売	サービス
R 02. 02 (n=52)	▲ 17.3	(A 11.7)	▲ 32.1	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 23.1	22. 2
R 02.05 (n=59)	▲ 49.1	(A 31.8)	▲ 30.8	▲ 72.7	▲ 29.2	▲ 66.7	▲ 44.5
R 02.08 (n=52)	▲ 61.6	(A 12.5)	▲ 66.1	▲ 9.1	▲ 75.0	▲ 83.3	▲ 66.7
R 02.11(n=49)	▲ 59.2	(2.4)	▲ 57.7	▲ 30.0	▲ 66.7	▲ 69.2	▲ 62.5
R 03.02(n=48)	▲ 47.9	(11.3)	▲ 30.7	▲ 22.2	▲ 20.0	▲ 63.6	▲ 87.5
前回調査比	-	-	-	(7.8)	(46. 7)	(5.6)	(▲ 25.0)
先行き見通し	▲ 39.6	-	-	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 54.5	▲ 62.5
今回調査比	(8.3)	_	_	(0.0)	(A 5.0)	(9. 1)	(25. 0)



③ 最 上

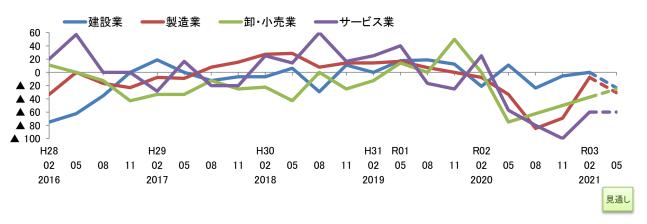
「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は430.0 (前回調査比 11.8 ポイント上昇) と 2 期連続で改善となった。 業種別にみると、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲40.0(今回調査比 10.0 ポイント下落)と 悪化の見込みとなっている。

0 ▲ 20 ▲ 30 0 ▲ 50 0 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 見通し

図表 17 最上「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

最上	業種別/自社業況(前年同期比)						
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸•小売	サービス
R 02. 02 (n=43)	▲ 9.3	(A 20.7)	▲ 5.7	▲ 21.0	▲ 7.7	0.0	25. 0
R 02.05 (n=45)	▲ 26. 7	(1 7.4)	▲ 27.9	11.1	▲ 33.4	▲ 75.0	▲ 57.1
R 02. 08 (n=43)	▲ 55.8	(A 29.1)	▲ 68.9	▲ 23.6	▲ 84.6	▲ 62.5	▲ 80.0
R 02.11 (n=43)	▲ 41.8	(14.0)	▲ 39.5	▲ 5.5	▲ 69.2	▲ 50.0	▲ 100.0
R 03.02(n=40)	▲ 30.0	(11.8)	▲ 27.9	0.0	▲ 7.7	▲ 37.5	▲ 60.0
前回調査比	_	=	-	(5.5)	(61.5)	(12.5)	(40.0)
先行き見通し	▲ 40.0	-	-	▲ 23.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 60.0
今回調査比	(▲ 10.0)	=	-	(A 23.5)	(A 23. 1)	(12.5)	(0.0)



4 置賜

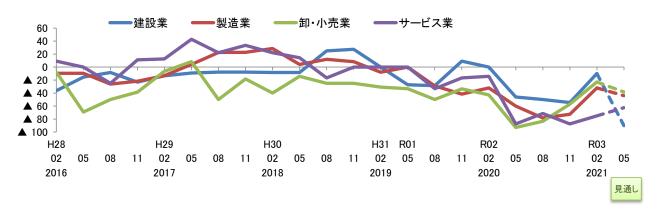
「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲49.1 (前回調査比 18.2 ポイント上昇)と大幅に改善となった。業種別にみると、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲54.5 (今回調査比 5.4 ポイント下落) と悪化が見込まれている。

A 20 0 **▲** 60 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 見通し

図表 19 置賜「自社業況DI値(前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

置賜	自社業況(前	5年同期比)		業種	別/自社業況	(前年同期)	Ľ)
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸•小売	サービス
R 02.02 (n=55)	▲ 27.3	(A 0.9)	▲ 24.5	0.0	▲ 32.0	▲ 42.8	▲ 14.3
R 02.05 (n=60)	▲ 68.4	(▲ 41.1)	▲ 47.2	▲ 46.1	▲ 60.0	▲ 92.9	▲ 87.5
R 02.08 (n=54)	▲ 72.2	(A 3.8)	▲ 68.3	▲ 50.0	▲ 78.3	▲ 83.3	▲ 71.4
R 02.11(n=55)	▲ 67.3	(4.9)	▲ 48.1	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 57. 1	▲ 87.5
R 03.02(n=55)	▲ 49.1	(18. 2)	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 32.0	▲ 23.0	▲ 75.0
前回調査比	_	-	-	(44. 5)	(40.7)	(34. 1)	(12.5)
先行き見通し	▲ 54.5	-	-	▲ 90.0	▲ 44.0	▲ 38.4	▲ 62.5
今回調査比	(▲ 5.4)	=	-	(▲ 80.0)	(1 2.0)	(▲ 15.4)	(12. 5)



⑤ 庄内田川

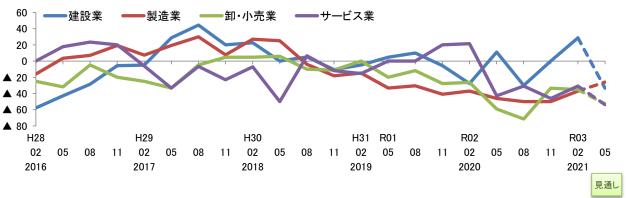
「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲21.3 (前回調査比 11.2 ポイント上昇) と 2 期連続で改善となった。 業種別にみると、卸・小売業で悪化となった一方、建設業、製造業、サービス業で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲41.3 (今回調査 20.0 ポイント下落)と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

0 ▲ 20 ▲ 30 ▲ 40 50 **▲** 60 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 見通し

図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DΙ値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内田川	自社業況(前	5年同期比)		業種	別/自社業況	(前年同期)	Ľ)
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸•小売	サービス
R 02. 02 (n=78)	▲ 21.8	(A 2. 6)	▲ 10.3	▲ 27.8	▲ 37.0	▲ 26.3	21. 5
R 02.05 (n=80)	▲ 36.2	(1 14. 4)	▲ 29.5	11. 1	▲ 46. 1	▲ 59.1	▲ 42.8
R 02.08 (n=82)	▲ 47.6	(1 1.4)	▲ 63.7	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 71.5	▲ 30.8
R 02. 11 (n=74)	▲ 32.5	(15. 1)	▲ 51.3	0.0	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 46.1
R 03.02(n=75)	▲ 21.3	(11. 2)	▲ 22.9	28.6	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 30.8
前回調査比	-	-	-	(28.6)	(13.0)	(A 1.9)	(15. 3)
先行き見通し	▲ 41.3	-	-	▲ 33.4	▲ 25.9	▲ 52.9	▲ 53.8
今回調査比	(A 20.0)	_	_	(A 62.0)	(11. 1)	(▲ 17.6)	(A 23.0)



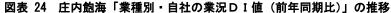
⑥ 庄内飽海

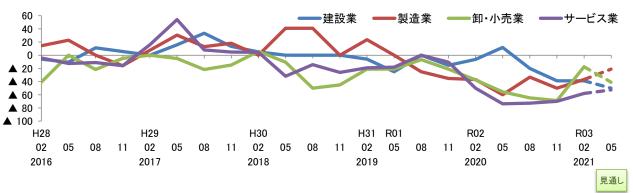
「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲42.9 (前回調査比 13.9 ポイント上昇) と 6 期ぶりの改善となった。 業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲42.8(今回調査比 0.1 ポイント上昇)とほぼ横ばいとなっている。

A 20 0 0 ▲ 80 H28 H29 H30 H31 R01 R02 R03 見通し

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値(前年同期比)」の推移





前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海	自社業況(前	(年同期比)		業種別/自社業況(前年同期比)			
調査時(サンプル数)	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸•小売	サービス
R 02. 02 (n=69)	▲ 33.3	(A 12. 7)	▲ 28.0	▲ 6.3	▲ 36.9	▲ 37.5	▲ 50.0
R 02. 05 (n=74)	▲ 46.0	(A 12. 7)	▲ 18.9	11.8	▲ 60.0	▲ 55.5	▲ 73.7
R 02. 08 (n=72)	▲ 50.0	(A 4.0)	▲ 67.5	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 64. 7	▲ 72.7
R 02. 11 (n=74)	▲ 56.8	(▲ 6.8)	▲ 59.7	▲ 38.8	▲ 50.0	▲ 68.8	▲ 70.0
R 03.02(n=70)	▲ 42.9	(13.9)	▲ 37.8	▲ 38.8	▲ 36.9	▲ 17.6	▲ 57.9
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(13. 1)	(51. 2)	(12. 1)
先行き見通し	▲ 42.8	-	-	▲ 50.0	▲ 21.0	▲ 41.1	▲ 52.6
今回調査比	(0.1)	-	=	(1 1.2)	(15.9)	(A 23.5)	(5.3)



II. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】







今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海	
全 業 種	•	~		%	•	%	•	
建設業		%	%			*		
製 造 業	%		%		>	>	>	
卸·小売業	~	%	>	8	%	•	%	
サービス業	7	>	>	7	•	•	7	

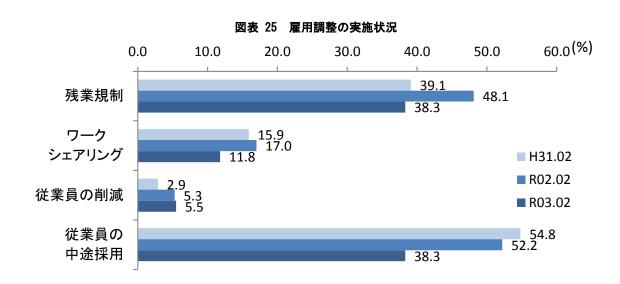
			山形県	村山南部	村部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
全	業	種	>	<u>**</u>	~	>	•	~	•
建	設	業	>	%	%	%	•	•	•
製	造	業	%	%	%	~	~	%	%
卸。	小売	業	~	%	7	%	7	7	7
サー	-ピス	ス業	>	>	>	>	>	>	>



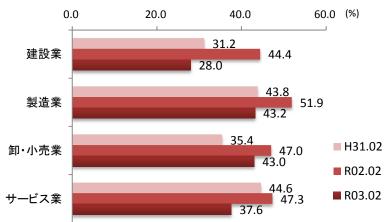
III. 特別調査

1. 雇用調整について

令和2年度に実施した(あるいは実施している)雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が38.3%(昨年比9.8ポイント低下)、「ワークシェアリング」が11.8%(昨年比5.2ポイント低下)、「従業員の削減」が5.5%(昨年比0.2ポイント上昇)、「従業員の中途採用」が38.3%(昨年比13.9ポイント低下)と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は低下し、「従業員の削減」の割合はほぼ横ばいとなった。

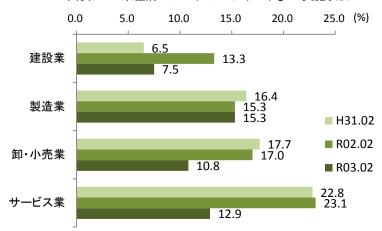


図表 26 業種別「残業規制」の実施状況



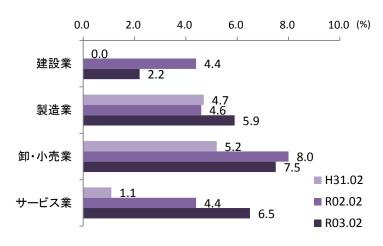
「残業規制」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、すべての業種で低下した。中でも建設業が28.0%(昨年比16.4ポイント低下)と大幅に低下している。

図表 27 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



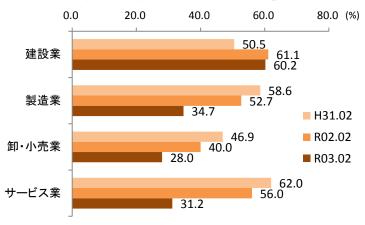
「ワークシェアリング」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業、卸・小売行、サービス業で低下となり、製造業は横ばいとなった。サービス業では 12.9% (昨年比 10.2 ポイント低下) と大幅な低下となっている。

図表 28 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」の実施割合を業種別にみると、 昨年に比べ、建設業と卸・小売業で低下となった 一方、製造業とサービス業では上昇となった。

図表 29 業種別「従業員の中途採用」の実施状況

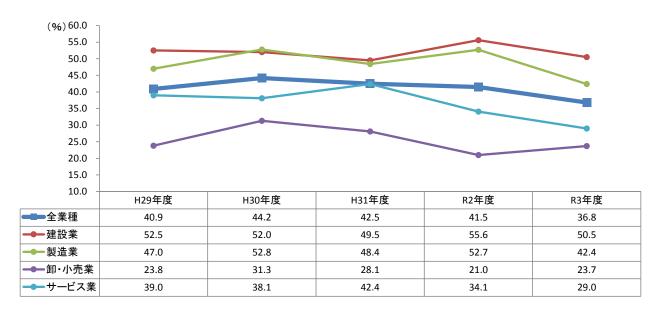


「従業員の中途採用」の実施割合を業種別にみると、すべての業種で低下となった。製造業、卸・小売業、サービス業では2年連続して低下となっている。



2. 新卒者の採用状況について

来年度(令和3年度)の新卒者の採用状況(採用するかどうか)について尋ねたところ、採用すると答えた 企業の割合は、全業種でみると 36.8%(昨年調査比 4.7 ポイント低下)と 3 年連続で低下となった。業種別 にみると、建設業が 50.5%(昨年調査比 5.1 ポイント低下)、製造業が 42.4%(昨年調査比 10.3 ポイント低下)、卸・小売業が 23.7%(昨年調査比 2.7 ポイント上昇)、サービス業が 29.0%(昨年調査比 5.1 ポイント 低下)と、建設業、製造業、サービス業で低下した一方、卸・小売業で上昇となった。



図表 30 業種別「新卒者の採用状況」の推移



< 参考資料 I: 地域別・業種別回答率>

(サンプル数:社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計			
村山南部	21	35	45	54	155			
村山北部	20	34	17	17	88			
最 上	21	18	10	18	67			
置賜	23	27	25	12	87			
庄内田川	29	37	29	28	123			
庄内飽海	34	33	31	37	135			
合 計	148	184	157	166	655			

(回答数:社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	18	24	27	40	109
村山北部	9	20	11	8	48
最 上	17	10	8	5	40
置賜	10	24	13	8	55
庄内田川	21	24	17	13	75
庄内飽海	18	16	17	19	70
合 計	93	118	93	93	397

(回答率:%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	85. 7	68. 6	60.0	74. 1	70. 3
村山北部	45. 0	58. 8	64. 7	47. 1	54. 5
最 上	81.0	55. 6	80.0	27. 8	59. 7
置賜	43.5	88. 9	52. 0	66. 7	63. 2
庄内田川	72. 4	64. 9	58. 6	46. 4	61.0
庄内飽海	52. 9	48. 5	54.8	51. 4	51.9
合 計	62.8	64. 1	59. 2	56. 0	60.6

サンプル割合 (業種別)



サンプル割合(地域別)



回答社割合 (業種別)



回答社割合(地域別)



<参考資料Ⅱ:調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部FAXを利用)

● 調査期間

令和3年2月1日(月)~15日(月)



● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項目		選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高(建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り(共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格(製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない 3. 上がった
製(商)品の仕入価(卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況(製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り

例)自社の業況DI値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、 業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1.」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3.」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

くお知らせ>

FSN会員専用ホームページ(http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi)にアクセスすると、統計 データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

くお問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 ∕手塚 綾子 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21荘銀山形ビル8F

TEL: 023-626-9017 FAX: 023-626-9038 E-mail: kenkyuu@fir.co.jp URL: https://www.fir.co.jp/